

池中だより

- 【教育目標】
- すすんで学び実践する人
 - 感謝する心を持ち責任を果たす人
 - 心身ともに健康な人

3月号

平成26年3月3日

豊島区立池袋中学校

季節は梅から桃、そして桜へ

校長 堀 利光

先月は二週にわたって週末に積雪があり、通行止め（それにともなう外部と隔絶されてしまった地域）や災害が列島を襲いました。

「梅」は香り 内に秘められたエネルギー

「梅」は雪の中でも、馥郁（ふくいく）とした香りの花を咲かせます。厳しい寒さの中でも、花だよりは各地で梅まつりの季節を迎えたことを告げています。凜と咲く紅白の可憐な花に、内に秘められたエネルギーを感じる人も多いはずですよ。

2月23日に閉幕したロシアのソチで開かれていた第22回冬季オリンピック大会で、浅田真央選手はフィギュア女子のショートプログラムではジャンプのミスが重なり16位と出遅れました。普通ならメダル獲得の可能性もなくなり、やる気をなくして当然のことなのに、まさに内に秘められたエネルギーでフリーは自己ベストを更新するほど完璧な演技を披露しました。演技終了直後の天を仰いでゆがんだ顔。すぐに笑顔を取りもどし「メダルという形で残すことはできなかったけど、自分が目指している演技ができ、私なりの恩返しができたと思う」というコメントを残しています。

スキージャンプ女子の高梨沙羅選手。今季のワールドカップでは13戦10勝で金メダル獲得の最有力候補といわれていました。それがまさかの4位。本人のショックたるや想像を絶するものがあつたにちがいありません。そんな中で「この悔しさをバネに、次のオリンピックに出られたら、今度こそいいところを見せたいです」と言える心の強さは誰にも真似できないものがあります。

このように、あきらめずに全力を尽くす姿、挑戦する勇気は性別や年齢、置かれた環境を問わず一生涯大切にしていかなければならないことなのでしょう。

ふりかえって、生徒諸君はどうだろうか。三年生は中学校卒業、一、二年生はそれぞれ進級まで残り一カ月となりました。まずは、この期間を生徒一人ひとりが次へのステップを意識して準備を怠ることのないように大切に過ごすことです。

「桃」 ひな祭り

雛祭る 都はづれや 桃の月

与謝蕪村

花だよりの「梅」の次にやってくるのは「桃の花」です。今日はひな祭り。桃の節句とも言われています。なぜ桃かというと、中国では古来から桃の木には、体の中の悪いものを取り除く力があるとされていました。桃が魔よけの力があるという考えが日本に伝わり、花盛りのひな祭りの時に桃の花が使われるようになったそうです。

花は「桜」 桜花満開

そして、この一カ月が過ぎると花だよりは「桜」です。今年の東京の桜の開花日は3月25日、満開日は4月2日という予報です。華やかな花を咲かせることでしょう。

その頃、三年生は新しいステージに立ち、今まで自分が経験してきたことのないもっと厳しい条件・環境に直面しているかもしれません。その時こそ内に秘めたエネルギーを完全燃焼し、強い心で立ち向かっていくのです。